



「新構成による利尻富士町議会が始動」～11月6日 初議会(第1回臨時会)～

議会だより



第1回定例会9月会議

- 平成25年度一般会計などの補正予算を可決
..... 3～4
- 一般質問 3期12年の経験から、この町の今後
進むべき方向性について 5～6
- 平成24年度各会計決算を認定
..... 6～7
- 行政報告 利尻空港の利用状況など 3件
..... 8

第1回臨時会

- 平成25年度一般会計などの補正予算を可決
..... 8

第2回臨時会

- 副町長の選任について
..... 8

平成25年12月

NO 161

利尻富士町議会構成が決まりました!

～第1回臨時会～

平成25年第1回臨時会が11月6日招集され、任期満了に伴う議長、副議長、一部事務組合選出議員の選挙を行いました。

また、議会選出監査委員、常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任も行い、新構成による利尻富士町議会が始動しました。

議長 前田芳久
副議長 戸嶋郁夫



議長就任あいさつ

利尻富士町議会議長 前田 芳久

議長就任にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

この度、初議会におきまして、議員多数のご推挙により利尻富士町議会議長の要職に就くことになりましたが、身に余る光栄とともにこの重責を痛感する思いであります。

ただ、ご存知のように私は議会議員としての経験が浅く、公平で信義に満ちた議会運営を行うためには、前長岡議長、そして議員各位、町理事者のご協力を頂かなければ円滑な遂行はできないと思っておりますので折に触れてご指導ご鞭撻を戴きたいと存じます。

さて、私どもは任期満了に伴う町議会議員選挙により、町民の皆様への審判を受けましたが、議員には関心があっても議会に対する関心は薄れているのが全国的な趨勢と言われている中、二元代表制としての議会、議員が果さなければならぬ役割は益々重要になっており、今、正にその真価が問われようとしています。

自治体の自主的な決定と責任の範囲が拡大した今日、当面する町政上の諸課題に適切に対処しながら、議会の公正、円滑な運営に全力を挙げ、町民の期待と信頼に応えるべく、先駆的に行動する利尻富士町議会を目指し最善の努力を傾注する決意であります。

利尻富士町民がこの町に住んで良かったと思える町づくりのため、町民の皆様の声に耳を傾け、活力ある議会を目指してまいりますので、皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

どうぞよろしくお願いいたします。



副議長就任あいさつ

利尻富士町議会副議長 戸嶋 郁夫

副議長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

議員各位のご推挙を得まして副議長の職務を担うことになり、誠に身に余る光栄であり、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

我町を取り巻く行政環境が大きく変化しており、議会の果たす役割と議員の責務も重要となっていることから、町の意思決定機関である議会が町民の付託に応え、町が持続的で充実した町づくりに寄与できるよう、誠心誠意努力してまいります所存でありますので、町民各位のさらなるご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副議長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本広報誌を編集・発行する広報・広聴常任委員会



委員 戸嶋 郁夫



委員 佐々木 勝



委員 伊藤 信勝



委員 久保田喜雄



委員 米谷 篤



委員 長岡 俊裕



副委員長 安楽 昌弘



委員 飯田 陸穂

議会選出監査委員

伊藤 信勝



総務民教産建常任委員会

委員長 米谷 篤

副委員長 佐々木 勝

委員 長岡 俊裕

委員 久保田喜雄

委員 飯田 陸穂

委員 安楽 昌弘

委員 伊藤 信勝

委員 戸嶋 郁夫

議会運営委員会

委員長 長岡 俊裕

副委員長 久保田喜雄

委員 米谷 篤

委員 飯田 陸穂

委員 戸嶋 郁夫

利尻富士町議会

会長 伊藤 信勝

副会長 久保田喜雄

会計監事 安楽 昌弘

利尻郡清掃施設組合
議員

前田 芳久
長岡 俊裕
飯田 睦穂
佐々木 勝

利尻郡学校給食組合
議員

前田 芳久
米谷 篤
飯田 睦穂
安楽 昌弘

利尻礼文消防事務組合
議員

戸嶋 郁夫
米谷 篤
久保田 喜雄

利尻島国保病院組合
議員

戸嶋 郁夫
長岡 俊裕
安楽 昌弘
伊藤 信勝
佐々木 勝



第1回定例会9月会議

第1回定例会9月会議は、9月12日から13日まで開催されました。

本会議では、町長から条例の制定、一般会計ほか2特別会計の補正予算、工事請負契約などが提案され、慎重な審議の結果、原案どおり可決しました。

また、平成24年度各会計歳入歳出決算の認定が提案され、議長及び議会選出監査委員を除く議員全員による決算審査特別委員会（米谷 篤 委員長）を設置し審査しました。

条例の制定

▽利尻富士町暴力団排除条例の制定について

〔制定内容〕

暴力団の排除に関する基本理念を定め、町及び町民等の責務を明らかにし、暴力団排除に関する施策等を定めることにより、社会一体となった暴力団排除活動を推進することを目的とする。

質疑

Q 藤井議員 暴力団による損害等、実際のな事案が発生したときにどう対応するのか。

A 総務課長 この条例では、町・町民・事業者の責務などを定めており、事案が発生した場合補償するという内容ではなく、町民や事業者、特に警察と連携し暴力団の排除に努めるというものです。

Q 再質疑 補償は別な形で町の責務として考えるのか。

A 総務課長 補償を町が担うことはないと思っております。当然加害者がいて被害者がいますので、その暴力団を排除するために警察が動くという形になるので、その点の責務はこの条例には謳っていません。

Q 再々質疑 本条例の町民に対するメリットは。

A 総務課長 町民等に対する

支援という条文があります。町民、事業者が暴力団排除のための活動に自主的に、かつ、連携・協力して取り組むという場合のため、町民等にいろいろな情報を提供します。その活動を安心してできるよう、警察と緊密に連携し、町民が不安にならないよう取り組みます。

原案可決

規約の変更

▽北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について

〔変更内容〕

住民基本台帳法の一部改正に伴い、規約を変更するもの。

原案可決

補正予算

▽平成25年度利尻富士町一般会計補正予算（第3号）

〔補正内容〕

補正額1千957万4千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ39億8千202万6千円とする。

質疑

Q 黒川議員 以前、改正離島振興法に絡め、不妊治療について質疑し、町独自の制度を前向きに検討する旨回答を頂いたが、今現在どういう経過か説明を。

A 福祉課長 国では、特定不妊治療費助成事業の見直しをしている状況です。国の動向を見ながら、国の方針が固まり次第、理事者と相談し検討したいと考えています。

Q 再質疑 以前の答弁では、離島振興法と絡めどうしていいののかという関心も含め、積極的に国や道と対応を考えたいという答弁を頂いた。これから年度末にかけ、ぜひ検討し良い結果を出して頂きたい。

A 町長 国は国の、それから道の方もそういう制度を持っている中で、利尻富士町としてどういう策を講じるのかを前向きに検討するという考えで答弁しております。国や道の様子を見、それ以上の範囲で上げられるかどうかも含め、年度内に結論を出すよう検討させて頂きたいと思っております。

Q 黒川議員 エゾパフンウニ資源不足の原因と今後の対策は。

A 産業建設課長 原因として第一に考えられるのは、急激な水温の上昇に耐えられなかったのではないかとということです。資源不足への対策ですが、稚ウニの放流やキタムラサキウニの深淺移植などを考えています。

Q 再質疑 水温の関係は、漁業者の方々も同じ話をしています。それと合わせ、ウニ殻の

海中投棄。洗い水すら海に流せなくなつてから10年以上経ち、この影響も考えられるのではという話も聞いています。以前行ったウニ殻の海中還元試験の結果も含め答弁を。

A 産業建設課長 ウニ殻の海中還元については、利札三町、道も一緒になり、特区でなんとかならないかということで、国と相当やりとりをしました。有効なものであればどうぞという回答で、有効なものは何かと言えば、ウニ殻ではなく殻に付いている身や内蔵であり、殻そのものの有効性を突き止められず、壁に当たっている状況です。

Q 再々質疑 できないことに対応するため、特区制度があるのでは。殻はまだ制約が多いにしても、ウニの洗い水を流す。改正離島振興法を活用し、危機的なウニ資源枯渇の状況に対し、町がリードし漁協・漁業者と一緒に取り組んで頂きたい。

A 産業建設課長 当町だけで実施するのは難しいので、利札三町、水産試験場、水産指導所とも連携しなければなりません。この問題に関しては道の方も取り組んでくれます。時間はかかるかもしれませんが、色々連携をしながら取り組んでいきますのでご理解頂きたい。

Q 藤井議員 旭浜の国勢橋は、秋になると川水が出て、橋梁の周りに溢れるなど、地元住人は雨が降ると不安になる。改良の有無や時期について建設管理部から話を聞いているか。

A 産業建設課長 国勢橋の改良については、兼ねてより建設管理部に要望しております。予算の関係、工法の関係から時間がかかっているようです。

Q 再質疑 橋の架け替えを早急にできるよう、町側から建設管理部の方に積極的にアプローチ願いたい。

A 産業建設課長 毎年北海道に要望しておりますし、建設管理部との話し合いの中でも、こういった道路の関係については個別にお願いをしています。

原案可決



国勢橋(旭浜)

▽平成25年度利尻富士町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
〔補正内容〕
補正額378万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ2億682万3千円とする。

原案可決

▽平成25年度利尻富士町国民健康保険施設特別会計補正予算(第1号)
〔補正内容〕
補正額109万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ8千4万1千円とする。

原案可決

工事請負契約

▽港湾観光支援助施設整備工事請負契約について
契約金額 7千623万円
契約の方法 指名競争入札
契約の相手方 稚内市港2丁目8番30号

株式会社 中田組

代表取締役社長 中田伸也

原案可決

議員発議

▽利尻富士町議会委員会条例の一部を改正する条例の提出について
〔改正内容〕

広報・広聴常任委員会委員の定数を5人から9人に増員するための改正。

原案可決

意見書

※次の意見書は、第1回定例会9月会議で原案のとおり可決し、関係行政庁へ送付しました。

◎道州制導入に断固反対する意見書

◎「教育費無償化」の前進を求める意見書

◎地方財政の拡充に関する意見書

委員会レポート

8月28日開催

総務民教産建常任委員会
広報・広聴常任委員会

総務民教産建常任委員会

町内福祉施設及び教育施設並びに集会施設等の現況調査

①利尻郡学校給食組合共同調理場
管理運営主体が一部事務組合であるため特記事項はないが、衛生的で安全性に配慮されていたことを追記したい。

②利尻小学校
老朽化が激しい学校である。

鬼脇地区小中併置校建設が予定されているが、快適で安全な学校教育環境等の充実・整備について積極的に取り組んでいただきたい。

③特別養護老人ホーム秀峰園及びデイサービスセンター
特別養護老人ホーム秀峰園について、老朽化が著しいため早

急な施設整備計画の樹立が必要と思われる。また、前庭の花壇に雑草等が繁茂しているため環境美化確保に配慮されたい。ディスプレイセンターについては特記事項なし。

④ 鴛泊中学校（ALT配置による英語授業）

指導助手として初めて教壇に立つ授業を視察したが、教室内は初授業とは思えない和やかさを感じた。国際化が進む中で外国語習得はますます重要になるため、要請に応じて地域住民や主に観光関係者を対象とした語学研修等の対応も検討していただきたい。

⑤ 鴛泊小学校

夏季休校中に改修した低学年用トイレは、清潔で安心して使用でき、トイレ待ちの行列も解消され児童も喜んでいるとの説明を受けた。今後も教育環境整備に積極的に取り組んでいただきたい。なお、開放的校舎で児童が明るく元気に学んでいる姿に感心したことを申し添えたい。

広報・広聴常任委員会

1 議会だよりNo.160の編集
2 意見交換会の開催

意見交換会の開催については、議会議員が任期を迎えることから、改選後の早い時期に開催を計画した。

第1回定例会9月会議

一般質問

黒川 健一 議員

観光立町に重点を置いた行政指導を

3期12年の経験から

この町の今後進むべき方向性について

町長

新町長にプレッシャーを与えるべきではないと考えるが、行政と民間が担うものを分けながら、町全体の意気高揚を期待する

議員 6月議会終了後の議員懇談会において、吉田町長から今限りでの引退表明がありました。3期12年にわたり、町のトップリーダーとして多くの困難な課題に取り組んできた事、とりわけ12年前、実に37年ぶりの町長選において当選後、その選挙のしこりを解消しどのよう

に一体化した協同の町づくりを進めるかに心を砕いた苦労話も回想しておられました。私も身も当時の渦中にいた一人として感慨深く拝聴させて頂きました。そして、町長のその思いと時間の経過が相まって、その解消に至ったものと思っております。この間、町長として、おそらく本人にしか判らない苦労と孤独と厳しい決断を求められ、それを繰り返して来られたことと推察する次第であり、長年のご苦労に敬意を表すとともに心からご苦労様と申し上げます。任期は11月までありますが、私は一期目の議員として吉田町長に対する一般質問はこれが最後となる訳ですが、この間、意見のくい違いや方向性の違いはあったとしても、お互い町づくりへの思いは同じだったと思っております。この前提に立ち吉田町長の12年間にわたるリーダーとしての経験と実績、識見から今後の町づくりに引き継いで行か

なければならぬと考える重要な課題と方向性について、その所信を伺います。

町長

まず、自分ではこの仕事でトップリーダーであるという考えを持ったことはありません。なぜならば、行政は町民が主役であり、その町民が求める課題や問題の中で、優先する判断の取捨選択を誤りなくするのが町長の仕事であると思います。少しでも多くの皆様が正しいと思われる道付けをしながら、その事が決まれば集中して対応するということ考えでありました。そこで、これまで町長職として

行政の舵取りをするにあたり、自分なりに肝に銘じてきたことは、一つ目は、職員とは上司と部下という関係からは別にして、町民に対しては自己犠牲があっても自己主張は最小限に抑えながら相手に耳を傾けること。二つ目は、自分を飾らず嘘・偽りのないことを相手にわかってもらうこと。三つ目は、言葉慎重ながら有言実行を旨とすること。この三つを念頭に置き、町民の皆様や議会の皆様にも接してきたつもりです。今私が行政の責任者を去るにあたり、その時期に利尻富士町の重要な課題や方向性を、誰が町長になるかわからないこの時点で申し上げ

ることではない。前任者が新町長にプレッシャーを与えるべきではないとの考えであり、11月25日から就任する新町長が、その事務引継ぎの中で問題や課題、懸案事項をどのように捉えて整理するか。その解決方法と方向性をどう導くか。これは新町長に任せるべきだと考えており、議会に相談された際には、相談ののって頂き、ふるさと利尻富士町の更なる明るい未来を築くため、ご協力賜りたいと思っております。質問の意にそぐわない部分があると思いますが、再質問によってお答えを申し上げます。

再質問

町長も仰ったように行政は継続ということでは、過疎化も含め昨年12月に、この一年間で何を重点的に進めていくか質問をしました。その中で人口の減少、過疎化や高齢化の進行等に大きな課題を持っていると町長から答弁がありました。繰り返しになりますが、ここ20年で町の産業である漁業の従事者が半減しています。一方、観光も含めた第3次産業が、観光の賑やかさと同時にどんどん増加し、相当な比重を占めています。この従業員をどう確保し人口減に歯止めをかけるかが大きな問題であり、漁業も跡継ぎができるような体制にしなければ

と思います。現実には町の観光が減少したことにより、様々なところに波及がくることを考えると、観光による立町に重点を置いた行政の指導がもう少しあるべきではと考えますが。

町長 自分も町長として12年間、頭にあるのは常にそのことだと言っても過言ではありません。それを実現するため、一番先に何が必要かとなれば、町行政が担うべきものと民間が担うもの。それぞれの分野をわけなければだめだと思っています。漁業の関係一つにしても決して手を疎かにしていたわけではありませぬ。その道付けは最後までできませんでしたが、やはりこの町は水産の町ですから、いかにして漁業者を減らさないか。高齢化になる現実を捉えながらも、いかに健康管理に努めてもらうかも含め、保健指導等徹底してきたつもりです。今、新たな道として漁師道の関係も一つ、新離島振興法の関係で、国へはこれから町としても様々な提案をしたいという話もしました。観光の問題は、新離島振興法で定住人口を維持するというところはかなり厳しいだろうと国も押さえていると思っています。行政は公平性を保つため、一つの道を付けることでも、かなり悩

みながら道付けをしています。その中で結果が一部でも出てきている。それを更に発展させることが大事だと思っています。

再々質問 決して観光に力を入れてこなかったと言っているわけではないです。業界は業界、民間は民間でできることはやりますけど、行政としても、この歯止めをしっかりと。そういう柱を持ちながら、観光の振興により以上の力を注いで頂ければ、町の経済の活性化に繋がっていくのではと考えますが。

町長 やはり町の経済を守る。観光を増やすということでは、それぞれの守備範囲がありますから、行政だけでは限られた力しかないと思います。その団体の意欲が、自分達が担わなければならぬものをどれだけ負担するか。そういう結果もありながら行政が支援する体制が大事だと思います。全体的に、町の人全員で気持ちをもちながら、そういう考えの基に行政を担って頂けるものだと思います。

64億9244万円を認定

平成24年度決算 決算審査特別委員会

平成24年度各会計決算審査特別委員会は9月12日に開催し、付託された全11会計の決算を審査しました。

一般会計、特別会計合わせて64億9244万円となり、審査の結果、全議員の賛成により原案のとおり認定しました。

自主財源は、

平成24年度の一般会計、特別会計を合計した形式収支は、4122万円の黒字です。一般会計において歳入の主なものは、行政運営に当たって国から交付される地方交付税や、国や道からの補助金、借入金などの依存財源が84.3%を占め、自主財源である町税や使用料などは15.7%となっております。町の財政は国や道からのお金と借入金に頼っています。

各会計の状況 ー平成24年度ー

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	42億8960万円	42億6565万円	2395万円
簡易水道事業	8910万円	8887万円	23万円
下水道事業	2億3802万円	2億3773万円	29万円
港湾整備事業	4億5692万円	4億5668万円	24万円
温泉事業	6818万円	6813万円	4万円
国民健康保険事業	4億6219万円	4億5035万円	1183万円
後期高齢者医療	4696万円	4657万円	38万円
介護保険事業	3億1579万円	3億1210万円	369万円
介護サービス (秀峰園、老健、デイサービス)	4億5155万円	4億5147万円	7万円
歯科施設 (鬼脇歯科診療所)	4056万円	4026万円	29万円
国民健康保険施設 (鷺泊診療所)	7474万円	7457万円	17万円
合計	65億3367万円	64億9244万円	4122万円

金額の単位は「万円」で切り捨てていますので、差引・合計が合致しない場合があります。

“決算審査特別委員会での質疑”

Q 草地開発事業貸付金が毎年継続して計上されており、早期の解決を監査委員からも指摘されているが、現状の取組、進捗状況は。

A 昭和46年に貸付が行われた資金で、昭和61年までは償還が続いていましたが、その後償還は行われず、収入未済となつていくものです。昨年、監査委員から指摘があり、理事者と協議の上、近日中に弁護士とお会いして、解決策を相談する段取りでおります。

Q 映画「北のカナリアたち」ロケに対し、相当な金額を投資しているが、資金に見合う効果は現れているか。

A 統計的な数字はなかなか出てこないと考えていますが、観光バス、ハイヤー、フリーの観光客がロケ地に立ち寄り、ロケの様子や映画の概要をガイドして頂いていると聞いています。また、撮影隊の来町による経済波及効果が非常に大きなものであり、スタッフの宿泊料、町内飲食、仕出し、交流会、送迎車リース、撮影セット、これら全てが町内での消費となつていきます。この他にテレビや新聞などのメディア宣伝効果も挙げられています。ロケに協力頂いた町

民の方達と連携して築いてきたことも大きな効果ではないかと思つていきます。

Q 大変な投資効果があったのだと思いますが、利尻富士町では観光ツアーの説明箇所は何箇所かのロケ地が入っているのか。

A ロケ地は金崎、富士野園地、ポロフンベ等で、実際に観光バス、ハイヤーが立ち止まって頂いているのは富士野園地、ポロフンベのロケ地と聞いています。

Q 新しいフェリーターミナル内にPRになるような写真・広告等の掲載場所を設けるのか。

A 側面がガラスの面が非常に多く、公共用の広告スペースとしては玄関入口に設ける予定です。観光案内や宿泊施設のPRに関しては、これから整備していく備品の中で、テレビ、電子ポスター、タブ



建設工事が進むフェリーターミナル
8月28日総務民教産建常任委員会時

レットを入れて対処したいと考えています。

Q 例年不納欠損が散見される。現在の収入未済額の中に、将来的に不納欠損をする状況はあるか。また、今回の不納欠損の経緯を事例ごとに説明を。

A 将来不納欠損になるような方がいるかという事は、今の段階では把握しておりません。不納欠損の事例は、所在不明、生活困窮、死亡です。

Q 転出した後に所在不明になる以前に、役場に届出があるはずなので、滞納があれば納入契約等の手続きをとっているのか。

A 転出の場合は役場に届出等の手続きにきます。その際滞納がある場合には当然本人との納税相談を行います。今回の所在不明は、その後の転出先からもう一度転出した場合です。

Q 当町から転出した先で登録され、その方が更に転出したも所在は判明するのでしょうか。

A どうしても掘めない場合があります。それに限り所在不明ということで処分しています。これからできる範囲で調査をし、回収に努めて参ります。

決算審査特別委員会報告書(抜粋)

委員長 米谷 篤
副委員長 戸嶋 郁夫

歳出においては、昨今の厳しい財政事情の中にありながら、町民福祉の向上に直結する適切、効果的な事務・事業を執行し、特に一般会計・特別会計の普通建設事業費に1,355,353千円を捻出されましたが、これは国・道の補助交付金や辺地・過疎債などの有利な起債を有効に活用の上、普通建設事業に充当された一般財源157,579千円の8.6倍に相当する事業費をもって、町内景気浮揚と地域の活性化を図ったことは、継続的な行財政改革の推進に加え効果的で効率的行財政運営によるものと認めるところであります。

歳入については、税収入や各種使用料収入等の徴収に向けて事務担当者が連携してその対策にあたっている努力は評価をするものの、町税、国保税、各種使用料等の新たな収入未済額の発生防止に努めるとともに、滞納額については、厳しい経済情勢ではあるが負担の公平性を欠かないためにも、滞納の実態に応じた収納方法を十分検討し、収入確保の実績が向上するようさらに努力していただきたい。

結びに、国政においては政権政党がかわり大きく変革しようとしています。当町においても国の政策を慎重に見据え、前例に捉われることなく本特別委員会が出された意見・提言等を行政執行に反映させ、これまで以上に持続可能で安定した財政基盤を確立し、自主・自立を目指した行財政運営のもとより一層の健全化と適正化が図られることを期待するものであります。

行政報告

第1回定例会9月会議において、町長より「利尻空港の利用状況について」ほか2件について行政報告がありました。

◎利尻空港の利用状況について

利尻・丘珠間（HAC）は、6月は往復1千310人で搭乗率60.6%、7月は往復1千658人で搭乗率74.3%、8月は往復1千874人で搭乗率84.0%になりました。利尻・新千歳間（ANA）は、6月は往復4千489人で搭乗率61.4%、7月は往復5千509人で搭乗率70.5%、8月は往復4千744人で搭乗率62.8%になりました。

チャーター便については、JALが8月8日岡山・利尻間と8月10日利尻・岡山間合

計236人で搭乗率71.5%。ANAが9月6日から8日まで3往復6便688人で搭乗率91.0%になりました。

◎普通交付税の額の確定について

本年度の普通地方交付税の額が20億2千633万9千円に確定し、前年対比433万2千円の減額となりました。

◎利尻・稚内間フェリー運航時刻の変更について

ハートランドフェリー稚内支店長が来庁し、今年度から観光客の減少に伴う会社経営の悪化から、4便体制から3便体制に減便してダイヤ改正をしたばかりであるが、礼文町から地域の産業・経済に支障が出ているので、更なるダイヤ改正が必要であるとの要望を受け検討に入るので町の意見を求めたいということで参りました。

その内容は、①今年の3便体制を維持しながら時間調整のみをしたい。②現在のままで礼文に停泊させるか、稚内にするかはこれからの検討課題。③鴛泊・香深間は発着時間とは別として、2便体制を維持したい。④実施時期については、平成26年1月からとし

たい。以上4項目の申し出がありました。町の対応は、早速関係者に連絡して意見を求めているところであります。

第1回臨時議会

【11月6日】

補正予算

▽平成25年度利尻富士町一般会計補正予算（第4号）

〔補正内容〕

補正額602万5千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ39億8千805万1千円とする。

原案可決

人事案件

▽固定資産評価審査委員会委員の選任について

鴛泊字栄町 廣澤 宏道氏
鴛泊字栄町 工藤 明夫氏
鬼脇字鬼脇 上福 秀仁氏

▽教育委員会委員の任命について

鴛泊字本町 佐藤 吉郎氏

▽監査委員の選任について

鴛泊字栄町 伊藤 信勝氏

▽人権擁護委員候補者の推薦について

鴛泊字栄町 佐藤千恵子氏
鬼脇字鬼脇 味噌 律子氏

第2回臨時議会

【12月9日】

人事案件

▽副町長の選任について

鴛泊字栄町 吉田 幹也氏

年賀の挨拶状を失礼します。

公職選挙法によって、当該選挙区内の方に対し、答礼のため自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状は禁止されておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

議員一同



※11月6日に招集された第1回臨時会での吉田町長の挨拶を掲載します。

退任の挨拶

町長 吉田 勤



利尻富士町議会臨時会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

まずは、町長選挙におきまして、無競争で当選されました田村新町長には、ご当選を心からお祝いを申し上げます。助役・副町長として12年間の経験を活かして、これからの利尻富士町の舵取り役として責任をもって遂行し、議会や町民とのコミュニケーションを大切にして活躍されますことを祈念申し上げます。議会議員の皆様にはご当選誠にありがとうございます。この結果は、議会と行政が丸くなって、山積する課題・問題を解決するようにとの町民の

皆様方の英断だと思っております。利尻富士町の明るい未来の構築のために、最大限のご尽力を頂ければ幸いです。

さて、私も6月議会終了後の議員との懇談会の席で、今期限りをもって町長職にピリオドを打ちたいと表明し、3期12年間に亘って、町民の皆様をはじめ、議会の皆様にも大変なご指導とご支援、そして叱咤激励を頂きながら、病を患うこともなく無事に任期を全うできましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。

町長に就任した時のことを思い起こしますと、私が教育長時代に安達町長から、町村合併の問題もある。財政は積立金も残り少なくなってきた。これからの行政を考えていけば、お前の行財政経験を活かして新たな道付けをしなれば町の将来はない。とまで言われて町長選挙に立候補を決断したことを昨日のように憶えています。課題であった合併問題は、相手の都合もあつて合意に至りませんでした。このままでの行政の経験から、議会や住民には協力して頂けるとの判断のもと、まず、行財政改革推進委員会を設立し、

町の財政状況を含めて行政の内容をつぶさに住民へ情報公開しました。私の考えは、一個人でなく、町の信頼は町内ばかりでなく、対外的にも信頼を得なければ利尻富士町の発展・充実は望めないとの信念のもと、行政は継続なり、継続は力なり。との考えで申し上げているものであり、議会の皆様や地域の方々に対しても、情報公開を大原則としながら行政が困っていることがあれば、議会や町民の皆様は積極的に話を聞いて対応していただける。それが行政の課題や問題を少しでも早く解決することができて、次の課題・問題を解決するためのエネルギーになると思いながら行政を執行してきたつもりでいます。ただ、その議会や町民の温情を決して無駄にすることなく、その皆様から与えて頂いた勇氣と気概を町民生活安定のために恩返しすることをモットーに、これまで仕事をしてきたつもりでいますし、職員にもその意識を徹底してまいりました。お陰さまで町民の暖かいご配慮に接しながら、町民の皆様も個々には厳しい選択が強いられただ部分があったと思いますが、大きな苦情の声もなく行財政

改革が進みました。その中には皆様方には大変迷惑なことがあったにも関わらず、仕様がなないの一言で済ませさせて頂きながらご協力を頂いたこともあつて、ここで自分で言うのもおかしな話ではありますが、財政は安定期に入ったと自負しております。

私が町長に就任して、将来の行財政を見据えて申し上げたのは、飛行機のパイロットと乗客になぞつて、その当時は、今雲海の中を飛行している。そのまま着陸態勢をとれば乗客の安全は確保できない。その状況を鑑みれば、乗客に迷惑がかかることを承知しながら、一端着陸を諦め、まずは雲海の上まで上昇して機材を安定させ、天候や滑走路の状況を把握しながら着陸に再チャレンジを試みる。そのためにある程度の時間を貸して貰いたいと申し上げたこともあり、この雲海の上にいるのが現在の行財政の状況であります。この飛行機を着陸させるためには、この厚い雲海を突き破って下降させなければならぬ判断で申し上げたもので、今度はその厚い雲の中で揺れを覚悟しながら、着陸態勢を取らなければならぬ。新町長には厳しい試練が

待っているかも知れませんが、議会の皆様も町の将来を見据えて頂きながら、行財政を安定させなければならぬことを念頭に、行政と議会が一体となつて水産業の振興・発展、観光産業の充実をはじめ、介護・医療・福祉、教育文化の向上を目指して町の活性化と地域の方々が意欲をもって幸せに生活できる環境整備に邁進できる体制を構築されることを一町民として陰ながら祈っております。

最後に町には長期ビジョンはありますが、議会の皆様の新しい発想と感覚のもとで、新町長が手腕を発揮することが今後の町づくりに大きく左右することは当然であります。ふるさと利尻富士町のために、利尻富士町に住んでいる方々のために、住んでよかったと思える町。これからも住み続けたいと思える町になるために、皆様方の益々のご活躍とご多幸、ご健勝を心からご祈念申し上げます。意を尽くせませんけど、私の退任の挨拶とさせていただきます。本当に長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。

議会日誌

9月

- 12日 第1回定例会9月会議（至13日）
- 21日 利礼六地区親睦野球大会

10月

- 3日 敬老会（鴛泊地区）
- 4日 敬老会（鬼脇地区）
- 5日 利礼三地区漁協役員親睦大会
- 〃 議員会・林活利尻富士議連臨時総会
- 6日 鬼脇保育所・利尻小学校合同学芸会
- 8日 表彰者選考委員会
- 12日 金刀毘羅神社例大祭
- 13日 鴛泊小学校学芸会
鬼脇中学校学校祭
- 20日 鴛泊中学校学校祭
- 21日 全国離島振興市町村議会議長会理事会
離島振興に関する研修会（東京都）
特定国境離島関係の活動に係る打合せ会
- 31日 高齢者スポーツ大会（鴛泊地区）

11月

- 1日 高齢者スポーツ大会（鬼脇地区）
新議員研修会
- 5日 初議会招集前の協議・研修会
- 6日 第1回臨時町議会
- 11日 平成25年度利尻富士町功労者表彰式
- 12日 第32回離島振興市町村議会議長全国大会
衆議院議員武部新先生との意見交換会
- 13日 第57回町議会議長全国大会
- 23日 利尻島新嘗感謝祭
菊地喜助氏叙勲祝賀会
- 29日 映画「北のカナリアたち」
阪本順治監督を囲む懇談会（稚内市）
- 30日 平成25年度自由民主党移動政調会（稚内市）

12月

- 1日 歳末チャリティー演芸会
- 9日 議会運営委員会
広報・広聴常任委員会
全員協議会
第2回臨時町議会

議会に請願(陳情)される方に

1. 請願書（陳情書）は下記の様式に準じ邦文で作成して下さい。
2. 請願書には、町議会議員の中から1名以上、紹介議員として署名または記名押印を受けて下さい。
3. 請願・陳情はいつでも受付けております。
4. その他不明な点については、議会事務局にお問い合わせ下さい。（電話 82-2512番）

(表)

(裏)

請 願 書	○○○○○ に関する請願
請願書(代表) 住所 氏名	請願書の内容
w	平成 年 月 日
紹介議員 (署名または記名押印)	利尻富士町議会議長 ○○○○ 殿

(陳情の場合は「請願」を「陳情」に読みかえてください。)

あなたの声を 議会だよりに!

議会・広報・広聴常任委員会ではみなさんのお声をお待ちしております。

■宛先■

〒097-0101

利尻富士町鴛泊字富士野6番地

利尻富士町議会事務局

TEL(0163)82-2512

FAX(0163)82-1253

E-mail

gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp

編集後記

10月27日執行の町長選挙、議員選挙も終わり一週間程して臨時議会が開催され、議会構成も決まりました。

本議会広報誌の発行を担当する広報・広聴常任委員会も新構成となりました。これまでもいろいろと工夫をしながら読み易く、親しみ易い広報誌を心がけてまいりましたが、これからもより身近な広報誌となるよう努めてまいりますので、町民の皆様もお気付きの点などございましたら遠慮なくお知らせください。

さて、今年も残すところあと僅かとなりました。この号が皆様のお手元に届く頃には今年の10大ニュース等が新聞・テレビで報道されていると思いますが、今年は多事多難な一年だったと感じています。特に北海道では三月の暴風雪災害により犠牲者も出ていますし、全国的にも台風、竜巻、豪雨など自然災害の怖さをまざまざと見せつけられました。

例年、この時期になりますと今年の世相を表す漢字が発表されています。候補には「輪」や「偽」が上がっているようですが、私の感じるところは「騒」ではと思っています。皆様はどうでしょうか。

来年は良い年であることを祈念しております。

利尻富士町議会

広報・広聴常任委員会一同